

救急体制の充実へ

小児保健医療総合センターを視察

知団
愛議
党県

公明党愛知県議団(桂俊弘団長)はこのほど、小児救急医療に

おける課題を探るため、大府市にある「あいち小児保健医療総合センター」(谷風三郎



センター長)を視察した【写真】。

同センターは保健部門と医療部門が併設されており、子どもの疾患予防から、医療、リハビリに至るまで一貫

したケアを行うことができる。同県議団は、小島文幸議員が2001年9月議会の一般質問で同センターの診療内容の充実を要請するなど、取り組みを後押ししてきた。

一行は、谷風三郎

ンター長から小児救急医療の現状について説明を受けた後、活発に意見交換を行った。センター長は、1歳から4歳の幼児の死因の多くが交通事故など不慮の事故であることを述べた上で、重症で放置すると致命的な状態に対処する3次救急体制が全国的に整っておらず、小児集中治療室(PICU)の整備と小児救急専門医の育成が課題であると報告した。視察後、桂団長は「小児医療の充実に向けて愛知県内でのPICUの導入と医師確保対策に取り組んでいきたい」と語った。